

令和7年度 江戸川区立瑞江中学校 『特別の教科 道徳』 教育全体計画

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
一、ものごとを正しく深く考え想像力の富んだ人になる(学習)
一、健康なからだで豊かな心情の人になる(心身)
一、思いやりの心を持ち進んで協力する人になる(協調)

【地域の実情】
【学校の実情】
【生徒の実態】
【教師の願い】
【保護者の願い】

本校の道徳教育の重点目標
自らの存在を肯定的に捉え、個性を発揮し自信をもって未来を、自分の手で切り開くことができるよう、自己肯定感を高めていく。

各学年の指導の重点

第1学年

・進んで学習する生徒に育てる。
・礼儀正しく実行力のある生徒に育てる。
・体力づくりに励む生徒に育てる。
・思いやりのある生徒に育てる。

第2学年

・自ら考え進んで行動できる生徒に育てる。
・心と体を鍛え、けじめのある生徒に育てる。
・目標を見つめ、しっかり学習できる生徒に育てる。

第3学年

・進路を見通し、自ら進んで学習できる 生徒に育てる。
・豊かな心を持ち、主体的に行動し、たくましく生きることのできる生徒に育てる。

各教科

国語

伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

社会

我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質を養う。

数学

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる

理科

自然の事物・現象を調べる活動を通して自然と人間との関わりを認識させ、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育てる。

音楽

音楽を愛好する心情を育て、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

美術

美術を愛好する心情を育て、感性を豊かにし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

保健体育

健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

技術・家庭

生活と技術について理解を深め、進んで生活を工夫し想像する能力と実践的な態度を育てる。

外国語

言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

読書科

豊かな心情を育み、生涯にわたって主体的に学び続けようとする態度を養う。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

1年

・規則正しい生活習慣を身に付けさせ、心身の健康増進を図る。
・礼儀正しく実行力のある生徒に育てる。
・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を育成する。
・集団の意義の理解と役割の責任を自覚を図る。

2年

・自己を見つめ、個性を伸ばし充実した生き方を追求しようとする態度を育成する。
・人と人とのかわり合いの中で生きていることを感じ、思いやりの心で人と接しようとする心情を育成する。
・自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を育成する。
・勤労の尊さや意義を理解し、公共の福祉と社会の発展に努める。

3年

・理想の実現を目指して自己の人生を切り拓く態度を育成する。
・多くの人々の善意や支えに感謝しそれにこたえようとする実践力を育成する。
・人間の弱さの克服する強さや気高さを信じ、生きる喜びを見出す。
・日本人としての自覚をもつとともに、国際理解と人類愛を育成する。

指導方針

・各学年の重点内容項目と生徒の発達段階に即して道徳的価値に基づいた人間としての生き方についての自覚を深める学習活動を行う。
・よりよい生き方について、教師と生徒及び生徒同士が互いに語り合う学級での温かな心の交流を行うことで学級の人間関係をより一層確かなものにしていく。

指導の工夫

・各教科・総合的な学習の時間・特別活動など他の教育活動との連携を密にし、それぞれの活動を補充・深化・統合できるよう資料選択を行う。
・生徒同士の言語活動を通し、語り合いを充実させ豊かな心の育成を図る。

総合的な学習の時間

食育…自己の健康について意識を高め、よりよい生活習慣を身に付けさせる。

人とのかわり合いの中で、コミュニケーション能力を高め、集団の中の自分を自覚し、よりよく生きる力を育成する。

チャレンジ・ザ・ドリーム…勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献しようとする態度を育成する。

移動教室…農作業体験を通して、自然の美しさに感動する豊かな心を醸成する。

京都・奈良の調査研究・発表…日本の文化や歴史を学ぶとともに、国際社会の一員である自覚を高める。

特別活動

学級活動

思いやりの心を持ち、生徒同士が信頼関係を築き、充実した学校生活を目指す。

生徒会活動

主体的・意欲的に委員会活動や生徒会行事に取り組み、よりよい学校の実現を目指すことで社会性・公共心を身に付けさせる。

学校行事

リーダーを育成し、リーダーを中心として生徒一人一人が役割をもつことで、集団の中の一員であるという自覚を深め、生徒が主体の行事の実施に努める

生活指導

・礼儀やルール、思いやりと感謝の心を大切にし、教師と生徒及び生徒相互の信頼関係を築きながら、社会性を身に付けさせる。

環境整備

・教室の清掃活動や校内の生徒作品の展示を通して、奉仕の精神を養うと共に豊かな心の育成を図る。

家庭・地域との連携

・授業や行事の公開を通して学校内の様子を公開すると共に、美化活動を通して地域を愛し、貢献する道徳的实践力を養う。

推進体制

・道徳教育推進教師を位置付け、指導計画をもとに各学年の道徳担当と連携をとり道徳の時間及び道徳教育全体の推進を図る。